



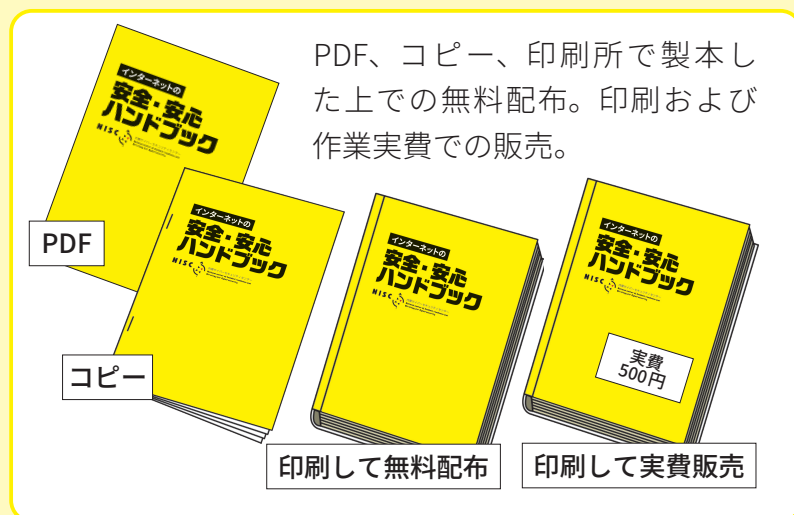
「インターネットの安全・安心ハンドブック」 は、下記のようにご活用いただけます。

本冊子の著作権は内閣サイバーセキュリティセンター(NISC)に留保されますが、内容に改変を加えないことを条件に、多様な形でご活用いただくことができます。

※製本用印刷データが必要な場合は下記までお問い合わせください

security_awareness@cyber.go.jp

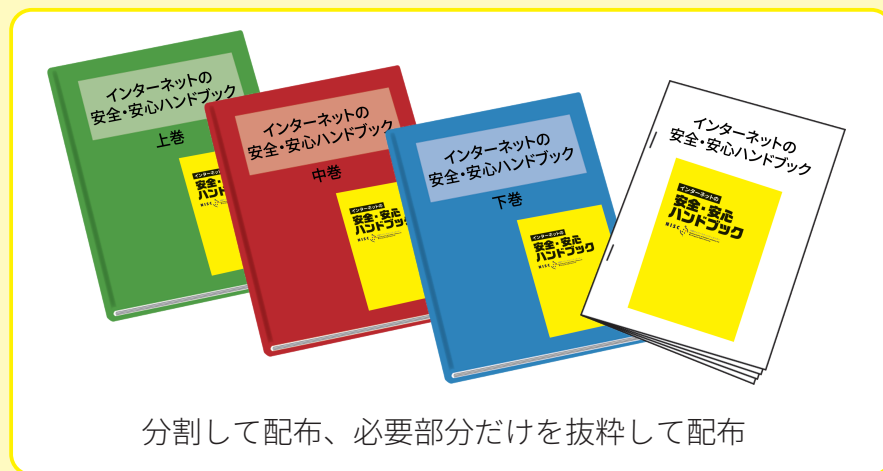
※合本やプリンタでの印刷にはNISCウェブサイト掲載のPDF版をお使いください



PDF、コピー、印刷所で製本した上での無料配布。印刷および作業実費での販売。



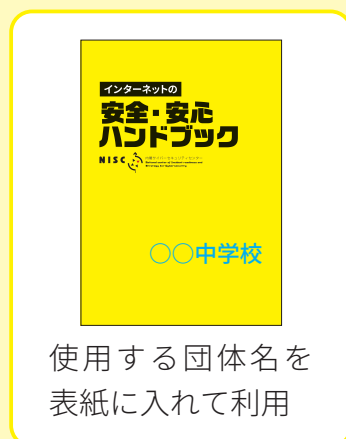
ページ単位、イラスト単位での利用、配布(ネット配布含む)



分割して配布、必要部分だけを抜粋して配布



ウェブサイトにダウンロードサイトのリンクを設置※



使用する団体名を表紙に入れて利用



自団体のセキュリティ資料と合体しての配布

インターネットの安全・安心ハンドブック 活用法

■学校の授業で

「インターネットの安全・安心ハンドブック」は、中高生の方とその先生方に、セキュリティ意識を高めるための教材として使っていただけるように作成されています。

第1章で基礎的なセキュリティを固めつつ、サイバー攻撃による被害、SNSでのトラブルや情報モラルの重要性、スマホやパソコンを安全に利用するための設定、パスワード管理の大切さと通信の安全性を支える暗号化など、読む前に専門知識は必要なく学べます。

■ご家庭で

本書で解説しているセキュリティの考え方や守り方はご家庭にも役立ちます。

とくに第3章では、こどもがSNSを通してどんなトラブルや被害に遭う可能性があるのかを解説したり、こどもだけでなくシニアの方々を守るためのサービスなども解説したりしていますので、ご活用ください。

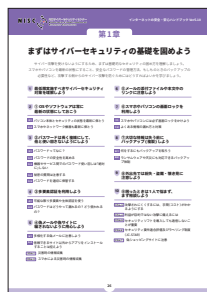
■中小企業等で

そして本書は中小企業や小さなNPO、一般社団法人などでも活用できます。

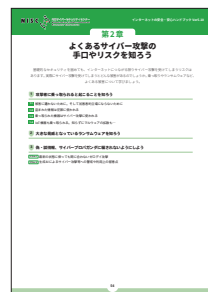
とくに第6章では、企業経営においてセキュリティ対策に投資すべき理由、企業だからこそ気を付けたいサイバー攻撃、テレワークを安全快適に利用するために必要なルール作り、最低限把握しておきたいセキュリティ関連の法律などを解説しています。

学校の授業で

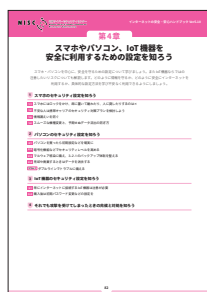
P.26「第1章 まずはサイバーセキュリティの基礎を固めよう」



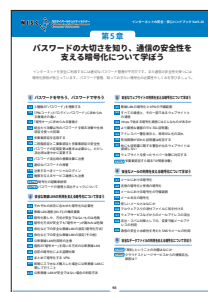
P.54「第2章 よくあるサイバー攻撃の手口やリスクを知ろう」



P.82「第4章 スマホやパソコン、IoT機器を安全に利用するための設定を知ろう」



P.98「第5章 パスワードの大切さを知り、通信の安全性を支える暗号化について学ぼう」



ご家庭で

P.67「1.3 SNS やネットとの付き合い方の基本」

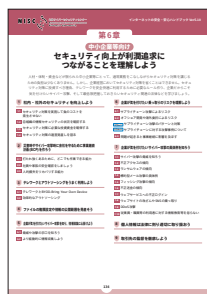


P.80「3.5 お年寄りを守る」



中小企業等で

P.134「第6章 中小企業等向け セキュリティ向上が利潤追求につながることを理解しよう」



P.163「付録 知っておくと役立つサイバーセキュリティに関する手引き・ガイドンス」

